



山田優花 講演セミナー

ウガンダと日本を結ぶ：遺児の教育支援と社会的包摂をめぐる現状と課題

2024年1月17日（水）午後1：00—3：00

様々な背景がある遺児の支援に長年取り組んできたあしなが育英会で、本学の在学中から長期的にウガンダでの遺児の教育を含めた社会経済的支援に現地拠点をベースに取り組んできた山田優花さん（本校卒業生）が、日本での教育支援事業での取り組みも踏まえて、遺児支援の現状と課題を紹介し、御自身も幼少期に父親を亡くし、あしなが育英会から奨学金を受けて大学進学をすることができた立場でもあることから、当事者の目線も含めて、様々な課題を取り上げていただいて、こうした問題を積極的に考察する機会を持てればと思います。

司会・コメント：大石高志(本学・教員)「近現代のアジア・アフリカにおける遺児：社会的な環境と問題」

参加者の方々との交流：大濱良太さん（あしなが会学生スタッフ）も加わって、参加者の方々との、ディスカッションや情報交換などを含めた交流の時間も予定。

場所：第2学舎1階 スチューデント・commons

開催方式：対面 + ZOOM
(右のQRコード)

対象：学内（教職員・学生）
および学外



山田優花氏 略歴

2010年、神戸市外国語大学卒。
大学在学中の2006年から1年間NGOあしながウガンダでボランティア。卒業後、あしなが育英会に入局。2012年から2017年あしながウガンダに出向、現地代表を務める。現在は、国内の遺児を対象に教育事業に従事している。

著書に『チェンジ 私のウガンダ2000日』（海竜社、2017年）